



おおにしの笑顔

第11号 令和2年11月19日

文責 恩田

- ⑧ もいやりのある正しい子
- ⑧ おきな声であいさつする子
- ⑧ にんたい強くかしこい子
- ⑧ しっかり体をきたえる子

11月朝会の話「あいさつキャンペーン」・「読書月間」について

11月5日に体育館で全校朝会を行いました。朝会の話の概要は以下の通りです。

〇〇は心の扉を開きます。〇〇は心と心をつなぐリボンです。

〇〇とは「挨拶」です。挨拶の「挨」には「心を開く」、挨拶の「拶」には、「相手に近づく」という意味があります、つまり、「挨拶」は相手に心を開いて近づく…仲良くなりましょうという意味がこめられています。だから挨拶はとても大切なんです。

11/4 から、あいさつキャンペーンが始まりました。あいさつキャンペーンのスローガン、憶えていますか？「あかるく いつでも さきに つづけよう」特に、「いつでも」というのは「いつでもどこでも誰にでも」です。朝、学校に来るときに旗振りをして見守ってくれている人、帰りにも緑のジャケットを着て見守ってくれている人がいますね。こういう人に、挨拶できていますか？学校に突然来たお客様に挨拶できていますか？家の中でも家の人に挨拶できていますか？こういうときにもきちんと挨拶できるのが「いつでも」です。12月はじめまで続くあいさつキャンペーンの期間に、西小の全員が今の質問に自信を持って手をあげられるようになってほしいと思っています。

11月は〇〇月間。本は心の◇◇◇です。

毎年 11 月は読書月間、「たくさん本を読みましょう」という月間です。なぜ、本を読むのか？「本は心のごはん」だからです。本は心の栄養になり、心が元気になります。いい本を読むと心が豊かになり優しい人になれます。何でも頑張れる人になれます。だからみんなに本を読んでほしいのです。

今年はコロナの関係で、図書室に行ける時間が限られています。だから、たくさん借りて読むのではなく、いろいろな種類の本を読む、長い厚い本に挑戦するなど、質の高い読み方をするように頑張ってください。そのために、「よみんご」カードを活用しましょう。それから図書室に貼ってある西小の先生たちのおすすめの本を是非読んでください。

校長先生のおすすめの本は星野富弘さんの詩画集「風の旅」です。星野富弘さんは事故で体が動かせなくなってしまったのですが、口に筆をくわえて素敵な詩や美しい花の絵を描いている人です。世界的に有名な人ですが、群馬県の人です。だから、群馬県に住んでいるみんなには是非知っていて欲しい人です。

子供のころ…

この朝会のあと、ある女の子が、すぐに図書室で「風の旅」を借りて読み、感想を書いたお手紙を校長室に届けに来てくれました。本人の了解を得て、手紙の一部を掲載します。(右)

今日、全校集会で校長先生がしょうかいしてくれた本「風の旅」をかりてみました。口でかいたとは思えないくらい上手でびっくりしました。いろいろな花の絵がかいてありきれいでした。わたしも絵をかくの好きなのでもっと練習して上手になりたいです。またおすすめの本があったら教えてください。ありがとうございました。

子供の素直なところはとても素敵だと思います。また、その後も、この本の感想を校長室に言いに来てくれた子が何人かいました。話を良く聞いていて、すぐに行動に移せる子が多く、嬉しく思います。



あいさつキャンペーン実施中～朝のあいさつ運動の様子

各クラスごとに工夫をして、あいさつ運動を盛り上げてくれています。